

令和4年(2022年)5月29日(日曜日)

# しゃぎり3年ぶりに

## 三島で腰切不動尊大祭

1633年に腰から

上だけの状態で見つかった石仏をまつる「腰切不動尊」(三島市南本町)の大祭が28日、開かれた。新型コロナウイルス対策の規模縮小により中止していた伝統芸能「しゃぎり」も3年ぶりに披露され

た。石仏は腰から下の病氣やけがの平癒、安産などに御利益があるとされ、腰切不動尊はかつて「田町のお不動さん」として地元で親しまれた。戦後間もない頃まで大祭に大勢の住民が足を運んだもの

の、徐々に管理が行き届かなくなっていたという。1999年に同市のNPO法人グラウンドワーク三島が管理を受け継ぎ、大祭と例祭を執り行っている。

同日は読経の後、同市で活動するNPO法人レッツエンジョイしゃぎりのメンバーが演奏を披露。参加した住

民らは焼香して地元の宝を継承する思いを新たにした。

(三島支局・金野真仁)



しゃぎり披露された腰切不動尊大祭＝三島市南本町